

# 一般質問の概要

平成24年第2回 二宮町議会定例会

1日目 6月6日(水) 午前9時30分～(近藤、桑原、添田、三橋、神保 各議員)

No	質問予定議員	質問概要
1	近藤 行宏 議員	<p><b>地域公共施設（地域集会施設、児童館、老人憩の家）の整備と今後の在り方について、町の見解を問う</b> (放映件名：地域公共施設の整備と今後の在り方について)</p> <p>地域公共施設の存在そのものが、これからの町づくりに大きな影響を及ぼしてくること。今後ますます町財政が厳しくなることから、地域公共施設の在り方について抜本的に対応を検討していかないと、財政に大きな影響を与え、今後の老朽化とその更新への対応も大きな行政テーマになると考え、地域公共施設全般についての方針を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 老人憩の家、児童館は、当初の目的によって名称が異なっているが、現在において、使われ方はどうなのか。地区で管理している公共施設となると、その地区の意向が重要と思われるが、名称の一本化について地区の考え方を聴取したのち、どの様に対応していくのか。 バリアフリー化、維持管理一元化、施設の開放について、その後の進展状況はどうなっているのか。</li><li>2. 将来の更新投資予測や現在の利用状況、配置状況等の実態把握と分析を行い、人口動態や財政見込みなど、各地区の情勢を勘案した上で施設の再編（統合、廃止、建て替えなど）は考えておられるのか。 再編を考える上でも、地区で管理している公共施設となると、その地区の意向が重要と思うが、地区との調整は、どうするのか。</li><li>3. 特に、防災コミュニティーセンターは、当該地区は勿論のこと、近隣地区に対してフォロー出来る機能や地域の拠点と成り得るのか、甚だ、疑問を持ちますが、明確な基準などは、あるのか。</li><li>4. 各地区から、建て替えなどの要望が挙がっているのか。毎年の地区要望の現状と担当課の対応状況は、どうなっているのか。 更に、公会堂1施設、児童館1施設、老人憩の家の6施設が、昭和56年以降基準法適用建物になっていない。昭和56年以前の公共施設の件数が、どの位あるのか、把握しているのか。又この現状をどう改善して行くのか</li><li>5. 今後、地域公共施設における太陽光発電設備の設置について、どの様に考えているのか。</li></ol> <p>以上、5点について伺う。</p>

2	<p style="text-align: center;"><b>桑原英俊</b> 議員</p>	<p><b>二宮駅北口周辺の交通対策と町道 27 号線の交互交通への対応について</b> (放映件名：二宮駅北口周辺の交通対策について)</p> <p>昨年(2022)の6月以降の実情を踏まえ、北口周辺の一般車両と企業バスの交通及び二宮駅を利用している通勤者・交通弱者である児童の通学路の安全性の確保と、また、二宮小学校下、町道 27 号線が完成と同時に交互通行になれば、一般車両が増えるなかで、高校生の自転車通学の安全性について問われると思います。</p> <p>通学路での死傷事故、去年は 21 件、今年は 6 件と重軽傷を負った児童が全国で相次いで被害にあたり、痛ましい限りです。さらに 4 月 28 日の神奈川新聞を見ますと 1 面で通学路の安全を守れと大きく見出しに書いてあります。</p> <p>私は、子ども達がもっと安心して生活できるような道路環境のインフラ整備・公共交通と他の交通(自家用車)との連携を確保し、二宮駅北口広場周辺を中心に徒歩・自転車・自家用車等の利用環境の向上と合わせて、連携した交通形態の充実を図ることで、安全・安心な日常生活の移動手段を確保していかなければならないと思います。</p> <p>要旨 1. 企業バスの検証ですが、前回の 6 月定例議会の時の一般質問をしたときの町道 316 号線の線路際の歩道を通学する約 360 名の児童と歩道傍に駐停車している送迎バスに乗り込もうとしている 186 名の中井町の会社職員との調整の結果と現状を報告してもらいたい。</p> <p>要旨 2. 全国的に通学路において登校中の事故が多く、子ども達が相次いで悲惨な交通事故に見舞われています。和歌山県白浜町教育委員会は通学路を点検して、安全面が気になる場所が計 22 か所あり、改善に検討していくとの事です。他県でも通学路の見直しをしているのに、教育委員会としては町全体の通学路の再度の検証と(交通事故の予防について)学校及びPTAに対して交通事故防止の啓発をしていくのかお伺いします。</p> <p>要旨 3. 平成 24 年度に完成する 27 号線の二宮小学校下の交互通行によって交通量が増加すると思われるその対応についてお聞きします。</p> <p>要旨 4. 小学校下の町道 27 号線の交互通行になった時の、二宮高校生の通学自転車のマナーについての状況をお聞きします。町道 27 号線が交互通行になった時には車両の流れが変わり、交通事故が起きやすい状態になると思いますが、どう対処していくのでしょうか。</p>
3	<p style="text-align: center;"><b>添田孝司</b> 議員</p>	<p><b>推進中の二宮町行政改革について問う。</b> <b>特に、効率的な町施設の運営についてを中心に問う。</b> (放映件名：行政改革で効率的な町施設の運営について)</p> <p>現在の行政改革プランは平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年計画で実施されている。社会環境等を分析し、町行政の課題を整理し、5 つの改革の柱を決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 効率的な町施設の運営</li> <li>2. 公的サービスへの多様な担い手の参画促進</li> <li>3. 事業の再編・整理、廃止・統合</li> <li>4. 財政基盤の強化</li> <li>5. 人材育成の推進</li> </ol>

		<p>行政改革の現状と、5つの柱の中で、“1. 効率的な町施設の運営”を中心に以下について問う。</p> <p>1) 5年計画で推進中行政改革の中間評価の有無と公表について問う。</p> <p>2) 現存施設資産の実態把握状況と今後の運営についての施策を問う。</p> <p>3) 施設の管理一元化施策について進行状況並びに今後の方針とその目的について問う。</p>
4	三橋智子 議員	<p><b>認知症対策と孤立死問題を問う</b> (放映件名：認知症対策と孤立死問題を問う)</p> <p>1. 認知症対策について問う</p> <p>① 認知症サポーターの育成はどうか 「認知症」を正しく理解し、安心して暮らせる町づくりのために、認知症サポーターの育成が続けられている。H22年3月に一般質問をした際、スキルアップの講座などその仕組みづくりを考えていくと答弁されたが、その後の育成状況はどうか。</p> <p>② 認知症対策の体制作りはどうか サポーターの活用や予防事業はどう進めていくのか。</p> <p>③ 認知症予防に聴覚チェックを導入できないか 老人性難聴からコミュニケーション不足となり、認知症につながるとされる。特定検診において高齢者への聴覚検査の導入が必要と考えるがどうか。また簡易聴覚チェッカーを使い、ミニデイや老人会の集まり等で簡易検査はできないか。</p> <p>2. 孤立死を防ぐ対策を問う 老々介護や障害者を抱える世帯など、社会とのつながりを失った家族が共だおれする「孤立死」が、今年に入り改めて社会問題化している。</p> <p>① 孤立する家族を町はどのように把握し、対応しているか。</p> <p>② 個人情報保護法のもと、ライフライン事業者などとの連携はどのように行なっているか。</p> <p>③ 国が示す「悲惨な孤立死、虐待などを1例も発生させない地域づくり」のための国庫補助金「安心生活創造事業」に対する町の考えはどうか。</p>
5	神保順子 議員	<p><b>学童児童の放課後支援における定住促進対策</b> (放映件名：児童の放課後支援対策における定住促進を)</p> <p>① 現在、子育て中の保護者（特に母親）は社会状況の悪化から働くことを余儀なくされている。しかし子供の年齢や家庭状況等からパートタイムでの働き方が多い中で、学童保育の現状と今後の方向性について伺う。</p> <p>② 国がすすめる「放課後子どもプラン」からみる学童期における放課後支援対策について教育委員会の見解は。 また3年間実施している「ゆうゆうスペース」の目的と今後の方向性はどのようなになっているか。</p> <p>③ 町がすすめる定住促進に若い世帯への施策が必要と考えるが、今後の方策と具体的計画について伺う</p>

備考：2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

6	原 富士徳 議員	<p><b>本年、3月、4月に締結された「桜美園の利用に関する協定」「広域ゴミ処理に関する協定書」の内容を問う</b>  <b>（放映件名：3月、4月に締結したゴミ協定の内容を問う）</b>          緑が丘自治会と交わした協定書の内容とその過程について問う。</p> <p>①緑が丘自治会と締結された「桜美園内ゴミ処理施設の停止に関する協定」は今後、同施設内には、いかなるゴミ処理関連施設は建設せず利用しないとなっているが都市計画決定されている同用地の利用を制限する本協定の内容は町民の総意の下に決定されたのか。</p> <p>②本協定の内容を決定するまでに町民の意見は、どの様に把握したのか。</p> <p>③桜美園の利用を大きく制限する事により今後のゴミ処理施設は町内、他の場所に求める事となるが代替地の予定は何処にあるのか。</p> <p>平塚市・大磯町とのゴミ処理広域化協定の離脱から復帰までの過程を問う。</p> <p>①平成18年9月に離脱を表明したときに二宮町と平塚市・大磯町との間に認識の違いが顕著に見られるとあるが、その認識の違いとは具体的に何だったのか。</p> <p>②平成21年3月17日に平塚市・大磯町の首長並びに各議長宛に提出された要望書の中に「現在用地取得に向けた諸条件の整備や地元の同意等を精力的に進めているところであります」とあるが、緑が丘自治会との協定の結果桜美園には新たな施設建設は不可能となった、町当局は今後の施設建設を町内何処に求めるつもりか。また、地元の同意とあるが既に用地交渉は始まっているのか。</p> <p>③1市2町の広域化の中で中間処理施設は平塚市が建設、管理を行なう事となっているが、二宮町は平塚市が「ひらつかEサービス」と交わした管理契約にどの程度拘束されるのか。</p>
7	浅賀 一伸 議員	<p><b>住民が住宅耐震改修工事で受けられる減税制度について</b>  <b>（放映件名：住宅耐震工事で受けられる減税制度）</b>          国は昨年、東日本大震災以降、全国的に住宅の耐震化を進めるため、耐震改修工事を行った世帯に対しての所得税控除の条件を緩和した。それを受けての町の対応を問う。</p> <p>①この法改正がされた時、町はそれを把握されたか。</p> <p>②職員同士で連携をとり、共有できていたか。</p> <p>③この制度について、多くの町民は知らないと思われるが、どのような制度か。またどのような手続きが必要か、説明を。</p>

8	協 正 文 議 員	<p><b>町道整備について問う</b>  <b>(放映件名：人命を守る町道整備に対する町の考えを問う)</b></p> <p>1. 百合が丘1丁目峠公園東から釜野へ通じる町道は2カ所に緩やかなカーブを描く坂道になっている。ここの交通量は多く、殆どがスピードを出して下っていく。また、この道路を、山西小・一色小・二宮西中学の児童生徒は1m足らずの路側帯を登下校路として通学している為非常に危険である。また、町道27号線双方向通行開始後は更に交通量が増え、危険度が高くなり、坂道故の大きな事故が増すことが予想される。又この道路は将来的に国道・県道並みの町の重要な幹線道路となっていくことが考えられる。</p> <p>①現状に対する町、教育委員会の考え方の説明を求める。教育委員会には、通学路問題を絡めての説明を求める。</p> <p>②将来を見越し現状に対応する町道整備をどのように行うつもりであるか説明を求める。</p> <p>③町としてこの道路を将来的にどう位置づけ、その為にどのような整備を進めていくのかその予定、計画について説明を求める。</p> <p>2. 緑が丘給食センター東から桜美園横を通り虫窪方面に抜ける農道の側溝には蓋がなく、急坂には転落防止のガードレールなどもない。しかも、この道を利用する農業従事者は高齢者が多く、危険が予想される。更に現在一般車両通行遠慮の看板が入り口にあるが一般車両が多く通行し、更にその通行量が増え非常に危険な状況にある。これに対し、町は現状をどう捉え、安全対策を含め今後どのように道路整備をするのか説明を求める。</p> <p>①何故農道の側溝に蓋がなく、転落防止柵のようなものがないのか説明を求める。</p> <p>②現在一般車両の通行が多く、また、増えてきていることから、町は今後この道をどのように考え、整備していくのか説明を求める。</p> <p><b>校庭芝生化計画について町の考えを問う</b>  <b>(放映件名：校庭芝生化計画について町の考えを問う)</b></p> <p>1. 校庭芝生化計画の目的、計画に対する町・教育委員会の考えについて説明を求める。</p> <p>2. 計画実施の為に現在までに行った事業、費やされた費用、教育委員会の行動について説明を求める。</p> <p>3. 今後、この計画をどうするのか説明を求める。</p>
---	-----------------------	--

9	小笠原陶子 議員	<p><b>子育てを支援する生活環境の整備について</b>  <b>(放映件名：子育てを支援する生活環境の整備について)</b></p> <p>二宮町次世代育成支援行動計画（後期計画）の策定にあたっては、各団体に協力を得て協議会を設置し、アンケート調査も行き、策定されました。22年度から26年度までの計画です。ちょうど折り返しの今年は改めて進捗を確認したい。</p> <p>特に、基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備  (2) 安全安心のまちづくりの、具体的施策  公共施設等の改善整備＝公共施設が子ども連れでも利用しやすいように、授乳コーナーやベビーベッドの設置等、各種施設整備を図ります。となっています。実際、役場にはトイレの中にオムツ交換の台は設置されましたが、ベビーベッドや授乳室はなく、赤ちゃんづれの母親にとって不便な状態だが、現在はどのように対応され、今後の設置の見込みについて伺う。また、役場だけでなく、二宮町のシンボルであるラディアンも授乳室がない。ぜひ整備してほしいがその計画はあるか伺う。</p> <p><b>食品の放射線量測定器購入について</b>  <b>(放映件名：食品の放射線量測定器購入について)</b></p> <p>3.11の福島原発の事故から、1年がすぎ、国は放射線汚染の暫定基準値を見直した。成長期の子供には、できる限り汚染されない食品を食べさせることが必要である。そこでかねてから、二宮町の給食センターにおいても食品の放射線量を計測できる機械を購入すべきと町民からも要望が出ているが、その後の計画はどうか。</p>
10	根岸ゆき子 議員	<p><b>周辺の環境変化に伴う町道の安全確保対策を問う</b>  <b>(放映件名：町道の安全確保対策について)</b></p> <p>緑が丘工業団地と保健センターを結ぶ町道は交通量が増加している。生活道路として歩行者・自転車等も多く利用されてきた。町は安全を促しながら道路管理をしてきたが、周辺の環境は変わる予定だ。見直しの時期にきていると考える。</p> <p>1. 234号線は歩道がなく、歩行者から危険だという声があがっている。通行する車の安全運転をうながす方策はどのように対処しているか。  2. 工業団地内の道路は幅が広い。車や歩行車を誘導する策が検討できるか。</p>

備考：7番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。